

◆研修会特集◆

新入職員図書室研修 体験型オリエンテーションのアンケート結果からの検討

小野 佳代子

抄録：伊達赤十字病院では、毎年4月に新入職員に向けて図書室のオリエンテーションを実施している。司書としての関わりは、2012年に看護師教育担当者からの依頼で新人看護師図書室研修を行ったことから始まり、現在は看護師のみでなく全職種の新入職員に対して行っている。

そのうち2016年と2018年に行った2事例の事前準備と終了後のアンケートから課題と効果の検討をした結果、「楽しむ」「知識」「理解」の3点が重要であると思われる。

キーワード：利用者教育、病院図書室、図書館サービス、オリエンテーション

I. はじめに

伊達赤十字病院（以下当院）は温暖な気候で北の湘南と言われている北海道伊達市に所在し、稼動病床数317床、診療科17科、医師数32名の伊達市唯一の総合病院で創立78年目になる。

当院の図書利用者教育は、2010年に新人看護師教育に看護職担当者がつき、2012年にその教育担当者から司書に依頼があり新人看護師の図書室オリエンテーションとしてスタートした。2014年以降は看護職以外にも対象になり、多種職合同オリエンテーションとなった。

研修の内容は、図書室の紹介や業務内容と取組みを知ること、利用法と的確な文献検索を身につけることを目的としてプログラムを

組んでいる。本稿では2016年度と2018年度の利用者教育を紹介し、その状況と評価の検討を報告する。

II. 2016年度新入職員オリエンテーション

1. 概要と日程

参加職種は研修医・看護師・薬剤師・PT・OT 検査技師等の合計21人で3時間、研修場所は、3階図書室・患者図書室第二書庫・看護学校図書室を利用して行った（図1）。タイムスケジュールは図2の通りである。

医中誌 Web 検索指導では、基本検索・シソーラスを使った検索・思うように検索できないときのコツ・リンクアイコンの活用・クリップボードの利用の5つの項目について説明している。そのうち検索のコツでは、ヒット件数の多い場合の絞り込みを説明した後、例題を用いてパソコンで実際に検索練習をした。

ONO Kayoko

伊達赤十字病院 図書室

TEL : 0142-23-2211 FAX : 0142-23-2369

date-tosho@date-rch.jp

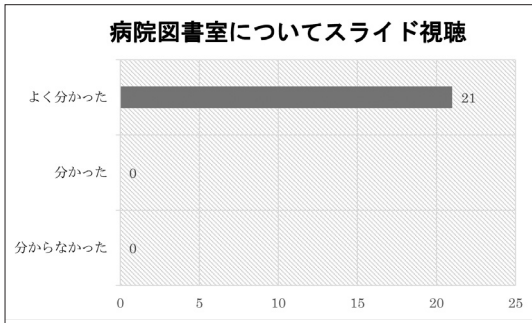


図 4

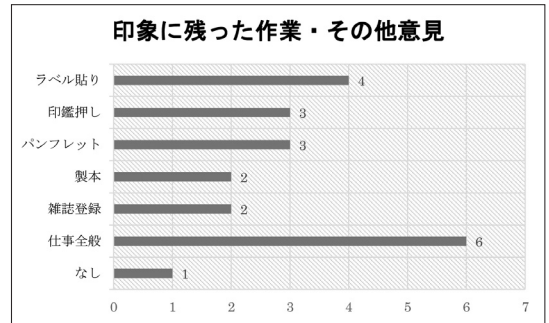


図 8

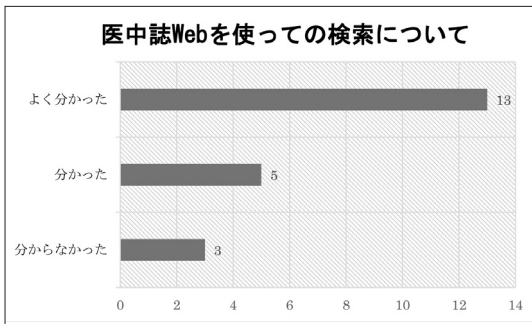


図 5

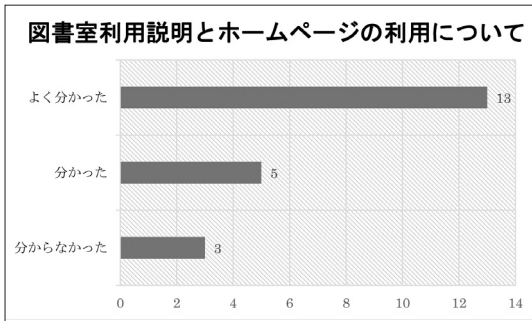


図 6

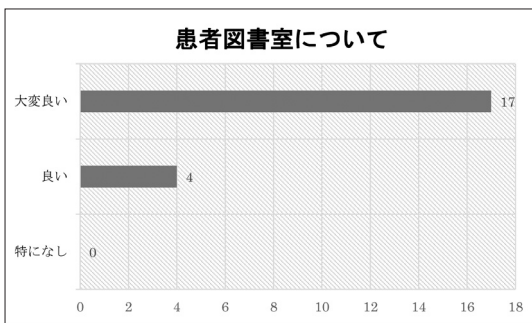


図 7

病院図書室についてのスライド視聴（図4）は、病院図書室の概要や、図書室サービスと患者図書室の紹介をパワーポイントにまとめたものであり、大学や当院以外の専門学校の出身看護師に、病院図書室の役割が理解しやすいように作成している。写真も挿入し、見学した大学図書館なども紹介しているので、参加者に分かりやすいと評価を頂いている。また医中誌 Web を使っでの検索について（図5）は、基本検索をおさらいした後、例題を使い演習しているので、絞込み法やヒット件数を増やす技術など、資料集めに一番携わる新人看護師向けの内容で構成した。図書室の所蔵を調べる所属検索ツールの使い方なども（図6）、資料集めに有効であるという感想であった。患者図書室は一般利用者に公開している図書館であるが（図7）、院内の職員でも存在や患者サービスについて知らないこともある。作業で実際に触れ、患者目線で考えることで、取り組みや患者サービスを理解し、入院患者にも PR できるようになると考えている。

最後の図書室体験で印象に残った作業・その他意見（図8）では、仕事量が多く重労働である・患者図書室の工夫が良い・作業が楽しく良い経験になった・本は大切に、マナーを

守って利用するなどの意見があり、体験をすることで、業務内容を理解し、利用者マナーの意識向上に繋がっているという印象を受けた。

を借りて作業体験の場所を設け、登録済みの雑誌や図書、パンフレットと箱に貼るラベルなどを、1月中旬から3月下旬までの準備期間で、グループに分けて配置した(図10)。

Ⅲ. 2018年度新入職員オリエンテーション

1. 概要と事前準備

参加職種は研修医・看護師・薬剤師・PT・OT 検査技師等の合計20人で、時間は1時間45分、研修場所は3階図書室・研修医師室・患者図書室を利用して実施した(図9)。

オリエンテーションは司書一人で行うので、スムーズに進めるために事前準備が必要となる。また、時間が前年まで3時間であったものから1時間45分に短縮されたので、移動時間をなくすために、隣接している研修医師室



図10

平成30年度 伊達赤十字病院 新規採用職員研修会			
【主催】中退採用者、は3階会議室前に集合の後、9:30の開会よりご参加をお願いします。		会場: 9階 会議室	
時間	4月2日(月) 1日目	4月3日(火) 2日目	4月4日(水) 3日目
8:30	入社式・辞令交付(8:30~9:15) 記念撮影	職場のメンタルヘルス (8:30~10:00) 心理判定員	接遇・社会人としてのマナーを身に付けよう (8:30~10:00) 接遇対応指導者 経営企画課長
9:00	会場撤収・設営(9:15~9:30)		
9:30	開会、オリエンテーション(9:30~10:00)		
10:00	社長メッセージ	休憩	休憩
10:30	【院長】院長 (10:00~11:30)	看護部概要 (10:10~11:10) 看護部長	個人情報保護等について 事務副部長 (10:10~10:50)
11:00		地域医療連携について 医療社会事業課長 (11:10~12:00)	オンラインシステム・PCの取扱い 経営企画課 (10:50~11:30)
11:30	病院案内 (11:40~12:10)		医事課システム・診療報酬について 医事課長 (11:30~12:10)
12:30	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	赤十字の仕組みと活動 事務部長 (13:00~14:00)	図書室の利用方法と文献検索 医局図書 小野 佳代子 (13:00~14:45) 図書室	医療安全管理について 医療安全管理者 (13:00~14:30)
14:00	当院の救護活動 事務部長 (14:00~15:00)		休憩
14:30		会場設営(14:45~15:00)	感染対策について 感染認定看護師 (14:40~17:00)
15:00	休憩	AED研修 (15:00~17:00) 救急法指導員	
15:30	当院の防火体制について 調度課長 (15:10~15:40)		
16:00	就業規則他諸規則、福利厚生制度、ハラスメントについて (15:40~16:10)		
16:30	給与・諸届出について (16:10~16:40)総務課(届出書類確認含む)	※AED研修受講者は動きやすい服装で参加して下さい。	
17:00	病院院友会について (16:40~17:00)		

図 9

タイムスケジュールは図11の通りである。

13:00	3階図書室（合同）
図書館説明	図書室内見
	文献検索（医中誌Web・最新看護索引Web）
	図書室利用法
	相互貸借利用のルール説明
13:45	図書室作業体験 3班に分かれて活動
	☆雑誌の受入れ
	☆書籍受入れ・製本作業
	☆患者図書室整備作業
14:45	作業終了・アンケート記入

図11

病院図書室についてのスライド視聴は外し、文献検索指導テキストや利用説明のスライドも見直し、前半の時間を45分に短縮した。

図書室説明では、開館時間・資料の貸出しと閲覧、相互貸借の利用とコピー機利用、図書・雑誌の所蔵検索の5つの項目をスライドを使いながら説明し、また、他に併設している看護学校図書室ホームページのログイン方法や病院職員が学校図書室を利用する際の注意点を説明している。

2. 図書室作業体験

作業体験は3班に分かれて活動した。患者図書室作業で自分達がラベルを貼り、パンフレットを入れた箱を持って患者図書室に移動する。ラベルは疾患別に色分けをしているが、それがパンフレットを選ぶ上でどのように見やすくなっているのかを、実際に見学し説明を受ける（図12）。

3. アンケートと回答

オリエンテーション終了後に5つの項目についてアンケートを実施している。その結果を表したグラフが図13～図17である。

☆図書室作業体験

図書室と研修医師室で、3班に分かれて活動



図12

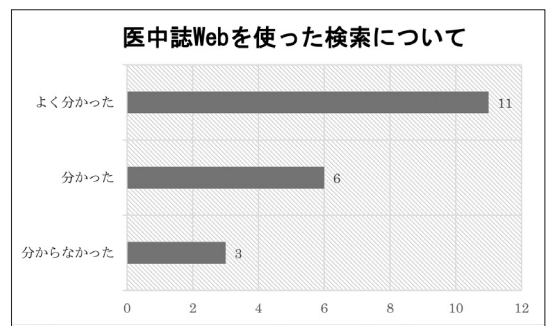


図13

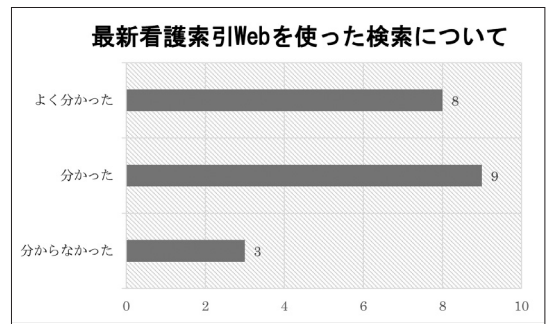


図14

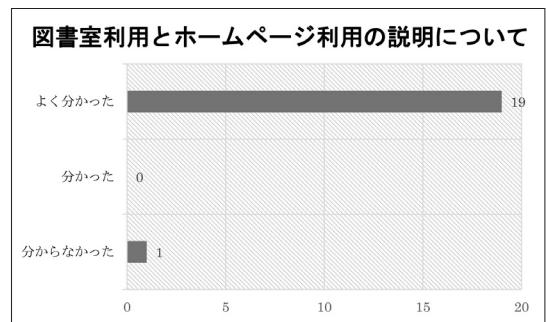


図15

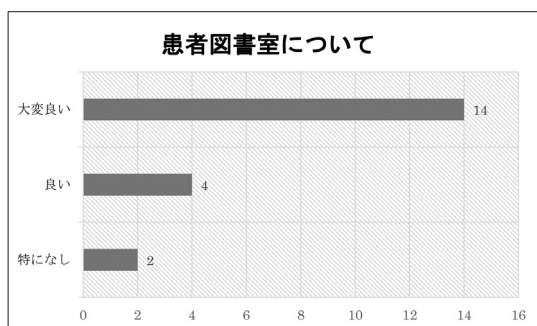


図16

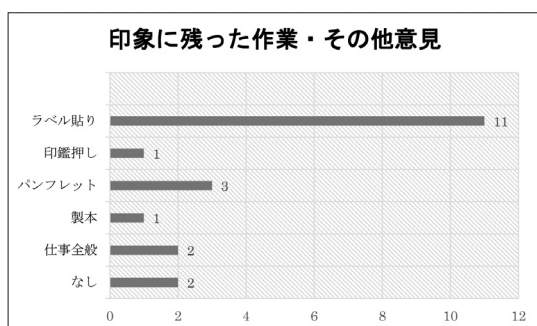


図17

最新看護索引 Web を使ったの文献検索について（図14）では、看護師以外では存在を知らない職員も多く、他に比べ理解度が低いように感じられた。この点は多職種同時に行う検索指導の難しいところである。

また図書室利用とホームページ利用の説明について（図15）では、所蔵検索機能が良いという他に、理解度は高いものの説明が早くて難しかったという意見があった。

図書室作業で印象に残った作業・その他の意見（図17）では、細かい作業が多く大変・パンフレット作業が印象的・図書室内が整理されていて使いやすい・患者図書室をみて病院の取組みが分かって良かったなどの感想があり、取組みについて新入職員が理解できている印象がある。

またアンケートの回答の中で、説明が早く

て難しいという意見が随所に見られたので、時間短縮による説明不足があり、利用者の理解に応じた進行ではなかったものと思われ、今後の課題と考える。

IV. アンケート結果からの検討

2016年と2018年のアンケートの結果や終了後の感想を比較し、成果と問題点から今後の課題を検討した。

1. 成果と評価

- (1) 新入職員と司書との面識ができたことにより、利用者の増加がみられた
- (2) データベースの認知度が増え、結果的に看護研究の支援に繋がった
- (3) 正しい図書室利用への認識の変化が見られた
- (4) 多種職共同になったことにより、多様な職種の利用に繋がった

上記(1)～(4)の傍証として看護部の文献依頼数の集計グラフをあげる（図18）。

図書室オリエンテーションが始まった2012年の文献依頼数が15件だったが、2013年は149件、2014年では228件に増加した。

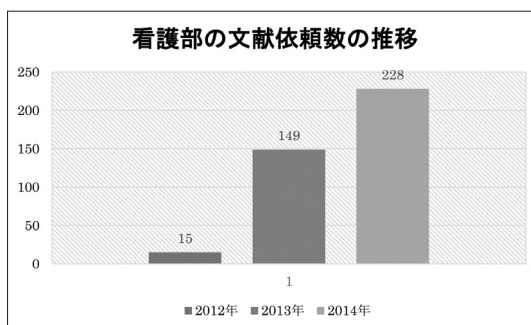


図18

2. 問題と今後の課題

より良いオリエンテーションを目指すため、

現状の問題点と課題として以下を感じた。

看護研究対応に偏りがちになるので、多職種対応の演習が必要である。またオリエンテーション時間の短縮により、説明不足から理解しきれなかったり、作業体験でまわりきれなかったグループもあったため、検索指導内容の見直しと時間配分の工夫が必要であると感じた。

V. まとめ

当院での利用者教育について述べたが、これらを成功させるために必要と考えたことを3つ挙げる。

- (1) 司書と参加者が共にオリエンテーションを楽しむことにより、内容の良いものを提供できる
- (2) 司書が講習会に参加することで、知識や技術が向上し、院内に還元できる
- (3) 体験を通して楽しく学ぶことで、図書室への理解や利用しやすい環境が整えられる

職員の反応に手応えを感じはじめたのは、3年目からである。データベースの利用が

広がり、検索技術も向上した。職員の認識や図書室への理解の浸透は、新人看護師の教育プログラムに入ったからで、新人看護師教育担当者の理解と協力が得られて実現したと実感している。

オリエンテーションは司書の考えや病院規模、個々の工夫や試みにより様々なかたちがあって良い。当院の利用者教育は「楽しく学ぶ」である。利用者に、「楽しかった！また図書室にきたい」と思われるオリエンテーションをこれからも実現していきたい。

本稿は2019年8月9日「日赤図書室協議会第25回研修会」での講演に加筆・修正したものである。

参考文献

- 1) 小野佳代子. 当院の新入職員オリエンテーションと看護学校での文献検指導の事例. 北海道病院ライブラリー研究会ニュースレター. 2017 ; 32(4) : 93-96.
- 2) 塚越貴子. 利用者教育. 日赤図書館雑誌. 2013 ; 20(1) : 19-23.